

心臓超音波テキスト（第26巻3号）正誤表

注1. 医歯薬出版から販売されている心臓超音波テキスト（第1版）
は、修正済みです。

注2. 医歯薬出版から販売されている心臓超音波テキスト（第2版）
には、下記の正誤表は適応しません。

頁	行位置	訂正前	訂正後
2	上から6行目	併用	調整
18	図22	asynnergy	asynergy
21	図1	LADの矢印	赤実線の上端まで伸ばす
34	図15	2m,3m,5m	2mm,3mm,5mm
37	表3中央	VIT	TVI
41	下から8行目	TVILVOT	TVIMV
41	下から6行目（挿入）		③S Vをさらに精度よく左室流入路（MV）で計測する場合、左室流入路断面積を橢円として計測（→[5A.逆流]の項参照,p. 105）
42	下から2行目	心尖部長軸断面	心尖部二腔断面
42	下から2行目	短径	縦径
42	下から1行目	長径	横径
44	下から4行目	右一左	左一右
67	図17,図19	dp/dt	dP/dt
67	図18	V1, V2	V ₁ , V ₂
71	下から7行目	(図25)	(図25) [→「2. 計測」の項表3参照, p.47].
81	上から7行目	-13.6	×0.8+0.6
81	上から9行目	end-diastolic	end diastolic
81	図40	中央	bの示す矢印上からdとaの接点までに短縮(1/2)
81	図40式1	(a+b+t)	(a+d+t)
102	上から2行目	向かうのを認め	向かい
104	上から11行目	一回心拍出量	左室流入血流量
105	上から14行目	RF=RV÷AV stroke volume	RF=RV÷MV stroke volume
112	上から4行目	RF=RV÷MV stroke volume	RF=RV÷AV stroke volume
117	上から3行目	同等に評価できる	同じと考えてよい
120	上から1行目	僧帽弁狭窄短軸弁口断面	僧帽弁狭窄弁口短軸断面
120	下から11行目	図B 適正僧帽弁口断面の設定法	図B 適正僧帽弁口短軸断面の設定法
133	上から9行目	大動脈弁狭窄血流波形	大動脈弁狭窄血流速波形
133	上から9行目	僧帽弁逆流波形	僧帽弁逆流血流速波形

133	上から 9 行目	三尖弁逆流波形	三尖弁逆流血流速波形
134	図 45 タイトル	大動脈弁狭窄血流波形	大動脈弁狭窄血流速波形
134	図 45 タイトル	房室弁逆流波形	房室弁逆流血流速波形
134	図 45 解説 1 行目	大動脈弁狭窄血流波形	大動脈弁狭窄血流速波形
134	図 45 解説 2 行目	三尖弁逆流波形	三尖弁逆流血流速波形
134	図 45 解説 2 行目	僧帽弁逆流波形	僧帽弁逆流血流速波形
146	上から 2 行目	重症度, 評価	重症度評価
150	下から 17 行目	おもに僧帽弁弁輪の拡大や壁運動異常に を含む左室の形態変化や壁運動異常に	おもに僧帽弁弁輪の拡大
158	下から 4 行目	scollapse	collapse
176	上から 11 行目	検者の技量に左右されところも大きい	検者の技量に左右される ところも大きい
197	図 15 タイトル	Medtronic	Medtronic
211	下から 15 行目	収まらない	治まらない
211	下から 8 行目	局部麻酔状態であるため	局部麻酔状態下では
214	下から 7 行目	イメージして描出像ができたら,	イメージして, 描出像ができたら
215	上から 3 行目	容易があるので	容易なため
219	上から 3 行目	描出しえないため	描出しえず